

<4時から夢塾> 示範授業:その2

第13回「4時から夢塾」は、10月23日(水)に南中学校で、新潟大学教育学部附属長岡中学校の恩田隆介先生を、講師に迎えて「社会科の授業改善」をテーマにして開催しました。以下、概要です。



(1) 授業:1年 中世の日本 ~中世の絵図資料から、武士の生活とおとぎ話の秘密に迫ろう~

- T 事前(レディネス調査)に、生徒から書いてもらった「武士のイメージ」を紹介する。
 C カッコいい 強そう いつも戦っている 鎧を着ている 織田信長 鉄砲隊 幕末 新撰組
 T ◎ (「一遍上人絵伝」を提示して) 中世の武士は、どのような生活をしていたのだろうか?
 C 門に見張りがある 馬がいる(戦いのため) 堀や塀がある(敵が入ってこられない) 弓がある(戦いのための武器が置いてある) 屋敷の外観が地味(お金は戦いのために使う)
 T 絵図に描かれている四種類の動物を見つけよう。 →C:馬 鳥(鷹) 犬 猿



- T 馬→早馬や戦い用(笠懸・流鏑馬) 鳥→鷹狩 犬→番犬, 犬追物 猿→守り神...なぜ?
 T ○なぜ、猿が守り神なのだろう? 桃太郎の物語がヒント...桃太郎と三匹の動物と鬼退治 鬼は寅のパンツを履き角をもつ:丑寅の方角→鬼門 対極に位置する猿(申)が守り神
 T ○(武士の館のジオラマ)なぜ、当時の武士は水田や畑などをもち、農民の仕事をしていた? 農業をしないと生計が立てられなかった 戦いがなければ収入がなかった

(2) 協議会: 恩田先生指導...「資料を活用した授業の提案」

- ・生徒に葛藤を生ませたり、認識とのズレを生ませたりする資料を集め、教材化を図ること。
 - ・資料提示で重要なこと...資料提示の「タイミング」と資料を基にした「問い」の二つである。
- 質問 Q1 限られた時数の中でどのような授業を行う? Q2 資料はどこから得てくる?
 A1 軽重はつけないといけない。今回の絵図は鎌倉仏教でもいい。資料は画質の良いものを。
 A2 資料は、まずは教科書を深く読み取る。私は、県立図書館の美術の所で探すことが多い。

<参加者の声>

- 二つの絵図の読み取り(追究)から、中世の武士像に迫る授業、とても参考になった。
- 資料の提示、どう問いかけると教師の意図が達成されるのかがわかり、参考になった。
- 生徒の興味をくすぐる資料提示、明確な指示やグループの気づきを共有する等、スムーズだった。
- 自分が悩んでいる内容(中世)の解決方法を知ることができた。実際の授業を見て勉強になった。
- 社会科における「どうして」「なんで」の問いかけの大切さを考えることができた。
- この絵図の授業を行ったが浅いものだった。今回、より中世の武士の生活がわかり勉強になった。

